

# 社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会

## (平成26年度第3回) 議事概要

1. 日 時 平成26年10月1日(水) 18:00~19:30
2. 場 所 とちぎ男女共同参画センター 3階 研修室301
3. 出席者

### [委員長]

石田 東生 (筑波大学大学院システム情報工学研究科教授)

### [委 員]

石渡 恒夫 (社団法人神奈川経済同友会 代表幹事)

小濱 哲 (横浜商科大学貿易・観光学科教授)

中村 文彦 (横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授)

二村 真理子 (東京女子大学現代教養学部国際社会学科 准教授)

牧野 昌子 (特定非営利活動法人

ちば市民活動・市民事業サポートクラブ代表理事)

### [関東地方整備局]

道路部長 後藤 貞二

宇都宮国道事務所長 戸倉 健司

## 4. 議 事

### (1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局 道路部長

### (2) 審議

- ・ 一般国道4号 栃木県矢板市~那須塩原市間の計画段階評価(第2回)について

### <委員からの主な意見等>

- ・ 国道4号は大型車が多いのに歩道が狭く危険であり、横断歩道もなく地域が分断されている。政策目標の沿道環境や安全・安心の箇所で地域分断にも触れるべき。
- ・ 安全・安心の観点からの必要性について、歩行者やバイクの方の視点からも整理すべき。
- ・ 現道が狭い道路であるため、大型車同士の事故等の時は長時間にわたり通行止めとなると思う。リダンダンシーに関しては、災害時だけでなく事故発生時も触れるべき。
- ・ 調査票による住民等への意見聴取の結果、早期整備を期待する声が多かったことを明記すべき。
- ・ ルート帯としてバイパスルート案と現道拡幅案という二案を示しているが、上石上地区~二区交差点の間はいずれの案の場合も現道拡幅であり、政策目標への適合も同じになる場合がある。よって、両案の政策目標への適合は、同じになるものと、そうならないものを分かりやすく説明すべき。

以上